

1 ACT（首都特別地域）の治安情勢

ACT内では3月に発生したNZでのテロ発生以降、巡回警察官を増加する等により警備を強化しており、治安情勢は全般的に安定しています。しかしながら、最近では銃を使用した犯罪が多発している他、3月にはANU（豪州国立大学）付近の路上を歩いていた女性が30代の男に襲われそうになる事件も発生しており、夜間における単独行動や人気の少ない場所では十分注意する必要があります。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 犯罪発生地域の傾向

全般的に北部を中心に増加しており、南部は概ね減少しています。Belconnen (+2%)、Gungahlin (+22%)、Inner North (+11%)、Inner South (-22%)、Weston Creek (-36%)、Molonglo District (+30%)、Woden Creek (-33%)、Tuggeranong Creek (-8%)

(2) 犯罪発生件数と犯罪の傾向

ア ACTでの3ヶ月間の犯罪発生件数（カッコ内は昨年同時期の発生件数）

・殺人、殺人未遂	: 3件 (3件)	0%
・暴行	: 694件 (700件)	-1%
・性的暴行	: 156件 (130件)	+20%
・対人犯罪	: 76件 (56件)	+36%
・不法侵入	: 757件 (585件)	+29%
・強盗	: 51件 (76件)	-33%
・窃盗	: 2134件 (2270件)	-6%
・車両盗難	: 273件 (299件)	-9%
・器物損壊	: 1149件 (1070件)	+7%
・その他の犯罪	: 2535件 (2895件)	-12%

ACT全体の犯罪発生件数は昨年同時期に比べ約0.3割減少しています。

イ 犯罪別の傾向

昨年同時期に比べ強盗や窃盗の盗難被害は減少していますが、拘束・脅迫・嫌がらせ等の対人犯罪や不法侵入等が増加しており、最近では住宅地に侵入して銃を使用した事件等、凶悪な犯罪も発生していることから、昼夜問わず確実な戸締まり等により引き続き注意する必要があります。

(3) 邦人被害について

邦人被害については認知していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 3月に発生したNZでのテロ発生以降も豪州政府の発表するテロ警戒レベルに変更はありません。現在のところ具体的なテロの脅威を示す情報は把握されていませんが、ニュース等による情報収集に努めるとともに、イベント等の人が集まる場所に足を運ぶ際は

十分な注意を払う必要があります。

(2) 爆弾予告及び事件発生については認知していませんが、1月にアスベストの入った小包が全豪内の各国大使館及び総領事館に郵送される事件が発生しており、爆発物ではありませんでしたが、不審郵便物の取り扱いについては十分注意する必要があります、触らない、動かさない等適切な処置を行う必要があります。

4 誘拐・脅迫事件発生情報

邦人誘拐等の被害については認知していません。

5 日本企業等の安全に関わる諸問題

一般的に対日感情は良好ですが、2018年12月の日本による国際捕鯨委員会脱退通告及び2019年7月以降予定している商業捕鯨再開に関し、環境保護を標榜する団体等を中心とした抗議活動がこれまで以上に活発となるおそれがあり、報道に触発された者による嫌がらせや暴行等を受けたりすることも懸念されます。もし、抗議活動等を見かけた場合は、決して近寄ることなく、巻き込まれないよう十分注意して下さい。

参考：

1. [ACT警察犯罪統計](#)

2. [ACT（首都特別地域）の事件発生状況（2019年1月～3月期）](#)